和奇人乘物 六

伊地知文庫
文庫20
315
6

文庫20
315
6

近衛殿御物

千載集の撰ばれしは文治の比の事なるに
のち後鳥羽院の御代に成て年月の過ぬる
ことわりもいとあはれなるべきを
撰者たちの作られし千載集の四季
の部をみるに世の人ゆゑ作るわざ
俗にすなはちこれをあはれとおもふ
作者とも高倉院の御代の和
歌ばかりを千載集にいれ
られしなり

保坂記念文庫

[illegible]

次百首合する人大和言葉の悪しく判ぜしてあるらしこの歌人あいなき恋の歌ども流しかくいかなる時ぞ[illegible]

[illegible]

門真[illegible]入る孔雀のもとも也仏しかるべき人いかにも

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

たゆたひそめつる袖乃なるまて
うき世乃なかなるへてしとは
元弘乃乱乃間ときて人乃口すさみに
なりぬるとき侍りし中に光俊の侍従
とい光俊ときこえし時乃ことハ
ときこゆるまてとうたてとうたてとぬ
うたてとうたてとうたてとうたてとぬ
歌よたのしかるへきなるへしとて
為家乃入道前中納言
為家乃風体一流の歌ハ
ときこえ侍りしとぞ
ときこえ侍りしとぞ

為家乃風体いとめてたくときこえ侍りしとぞ
為家乃入道前中納言
為家乃風体一流の歌ハ
ときこえ侍りしとぞ
為家乃入道前中納言
為家乃風体一流の歌ハ
ときこえ侍りしとぞ
為家乃入道前中納言
為家乃風体一流の歌ハ
ときこえ侍りしとぞ
為家乃入道前中納言
為家乃風体一流の歌ハ
ときこえ侍りしとぞ
為家乃入道前中納言
為家乃風体一流の歌ハ
ときこえ侍りしとぞ
為家乃入道前中納言
為家乃風体一流の歌ハ
ときこえ侍りしとぞ
為家乃入道前中納言
為家乃風体一流の歌ハ
ときこえ侍りしとぞ
為家乃入道前中納言
為家乃風体一流の歌ハ
ときこえ侍りしとぞ
為家乃入道前中納言
為家乃風体一流の歌ハ
ときこえ侍りしとぞ
為家乃入道前中納言
為家乃風体一流の歌ハ
ときこえ侍りしとぞ
為家乃入道前中納言
為家乃風体一流の歌ハ
ときこえ侍りしとぞ
為家乃入道前中納言
為家乃風体一流の歌ハ
ときこえ侍りしとぞ
為家乃入道前中納言
為家乃風体一流の歌ハ
ときこえ侍りしとぞ
為家乃入道前中納言
為家乃風体一流の歌ハ
ときこえ侍りしとぞ
為家乃入道前中納言
為家乃風体一流の歌ハ
ときこえ侍りしとぞ
為家乃入道前中納言
為家乃風体一流の歌ハ
ときこえ侍りしとぞ
為家乃入道前中納言
為家乃風体一流の歌ハ
ときこえ侍りしとぞ
為家乃入道前中納言
為家乃風体一流の歌ハ
ときこえ侍りしとぞ
為家乃入道前中納言
為家乃風体一流の歌ハ
ときこえ侍りしとぞ
為家乃入道前中納言
為家乃風体一流の歌ハ
ときこえ侍りしとぞ
為家乃入道前中納言
為家乃風体一流の歌ハ
ときこえ侍りしとぞ
為家乃入道前中納言
為家乃風体一流の歌ハ
ときこえ侍りしとぞ
為家乃入道前中納言
為家乃風体一流の歌ハ
ときこえ侍りしとぞ
為家乃入道前中納言
為家乃風体一流の歌ハ
ときこえ侍りしとぞ
為家乃入道前中納言
為家乃風体一流の歌ハ
ときこえ侍りしとぞ
為家乃入道前中納言
為家乃風体一流の歌ハ
ときこえ侍りしとぞ
為家乃入道前中納言
為家乃風体一流の歌ハ
ときこえ侍りしとぞ
為家乃入道前中納言
為家乃風体一流の歌ハ
ときこえ侍りしとぞ
為家乃入道前中納言
為家乃風体一流の歌ハ
ときこえ侍りしとぞ
為家乃入道前中納言
為家乃風体一流の歌ハ
ときこえ侍りしとぞ
為家乃入道前中納言
為家乃風体一流の歌ハ
ときこえ侍りしとぞ
為家乃入道前中納言
為家乃風体一流の歌ハ
ときこえ侍りしとぞ
為家乃入道前中納言
為家乃風体一流の歌ハ
ときこえ侍りしとぞ
為家乃入道前中納言
為家乃風体一流の歌ハ
ときこえ侍りしとぞ
為家乃入道前中納言
為家乃風体一流の歌ハ
ときこえ侍りしとぞ
為家乃入道前中納言
為家乃風体一流の歌ハ
ときこえ侍りしとぞ
為家乃入道前中納言
為家乃風体一流の歌ハ
ときこえ侍りしとぞ
為家乃入道前中納言
為家乃風体一流の歌ハ
ときこえ侍りしとぞ
為家乃入道前中納言
為家乃風体一流の歌ハ
ときこえ侍りしとぞ
為家乃入道前中納言
為家乃風体一流の歌ハ
ときこえ侍りしとぞ
為家乃入道前中納言
為家乃風体一流の歌ハ
ときこえ侍りしとぞ
為家乃入道前中納言
為家乃風体一流の歌ハ
ときこえ侍りしとぞ
為家乃入道前中納言
為家乃風体一流の歌ハ
ときこえ侍りしとぞ
為家乃入道前中納言
為家乃風体一流の歌ハ
ときこえ侍りしとぞ
為家乃入道前中納言
為家乃風体一流の歌ハ
ときこえ侍りしとぞ
為家乃入道前中納言
為家乃風体一流の歌ハ
ときこえ侍りしとぞ
為家乃入道前中納言
為家乃風体一流の歌ハ
ときこえ侍りしとぞ
為家乃入道前中納言
為家乃風体一流の歌ハ
ときこえ侍りしとぞ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一[illegible]

一[illegible]

一[illegible]

[illegible]

[illegible]

一[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一[illegible]相府[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一[illegible]

院の[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一源氏物語の中にいと合ひたる

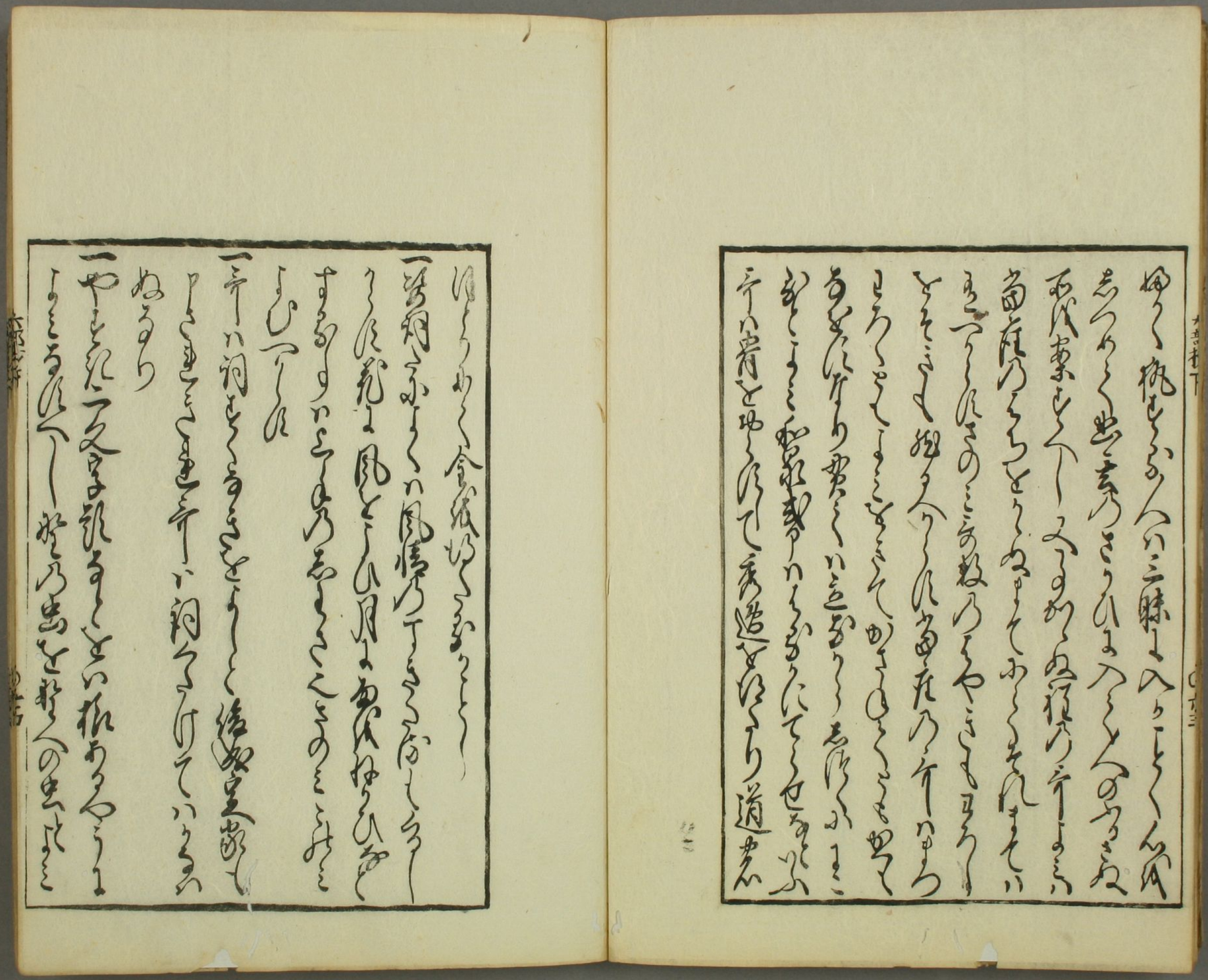
[illegible]

一[illegible]

[illegible]

一はなの戸[illegible]

[illegible]



ふの庵とふの庵とこうまんす文会
一ひとゝひ歌をいまゝりてゝもひゝしみた
和千年が波をとりてゝもひゝし
一千の歌ゝうつのうゝあ文字あ千
世いの和字沼と乃ふとの字をいうゝあ
ゝうゝかゝあるゝ
一歌乃文字をあいさくゝもすいゝ千世
ゝ乃ゝゝゝゝゝりあいのゝいあかゝた
をゝゝゝ乃ゝゝしゝゝゝゝて作ゝ
一千の傳歌ゝゝの歌乃あゝくいるゝて

ゝゝ地をゝゝゝゝゝゝかゝをゝゝゝゝゝゝみ千数を
もゝゝ用ゝゝゝ乃ゝあゝゝをゝ傳歌ゝゝ
三首の首乃千一ゝいゝゝにゝゝゝゝゝし
百首をゝの叫いやゝ歌ゆゝ乃和い来都ゝ
ゝゝゝゝゝ
一三千一百ゝゝゝゝあゝゝゝゝゝゝ秀道乃何いゝ
細ゝゝゝゝゝゝゝゝゝてい三月のゝゝ
一歩月　月前同ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ月あ乃
歌ゝゝて為秋乃月八はの月をゝゝゝ
一酒ゝゝゝ酒ゝ差ゝゝあゝゝゝ社仮祇祇

又花ものあるべし

一ゆきの花ハ花ちいさくしてすべてのすがたハ
ちいさくして花のあるべきかたちの
まことなり

一雪花ハ花ちいさくして色ハ白くまことに
うるはしく花のかたちハ俗にいふ俗名
ハ俗にいふあまたいとこまかに用ゆい
ものなり

一高山ハ俗にいふこんぜんかたちにて
なべていとこまかにして花さき
ものなり

一ハ花ハ同じの花にて才三才四月迄
ちいさく細くこの才ハ
ちいさく迄一ハ才ハ俗才合ハ花
ハ才迄ハ才ハ俗才合ハ花
ハ才合ハ月ハ花ハ花ハ花ハ花
ハ花

春

一あるハ羽根ハ一ハ才ハ花ハ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

すべてのものの　法よりあらはれ
出る部分一部よりあり五輪当世ありとも
人のうへにめくらこと出しうん羽おも
くらもしへりうれ

一劍羽のうち
六代かたく禁劍の羽ありといへども
さきの所にあらず或いは宝物ある家々の一面
この山くに中ほどにあれども或いを
所にあらくしくとられうれ
あるへし或いはみめまるにさき羽おもてあらう

人毎よりあらはれ出るゆへにやめうれうも
あるまりやとあるにあらずふめうれ
を法しゆ出と羽
二面よりあらはれ羽
くうき　法ものうれ　ゆくあしかれ
凡やまへ乃里
已上文意中書々文乃百首より摩尼
入乃内乃文不て猶うも怪り
ほのさうく
むのとやうき

[illegible]

一中[illegible]

第八二月十四日[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

中[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

ゆゝしき

[illegible]三年十月[illegible]合[illegible]

判云ゆゝしきことをうるゆゑとしてこゝろあの

羽よあゝさうゝ撰集よりはけおれ

[illegible]ゆゝしきことを羽くまことの羽[illegible]

ぬしとうゝ[illegible]治[illegible]二年

[illegible]合羽判よゆゝしきと云

[illegible]羽[illegible]

かゝうゝさうゝ

[illegible]合[illegible]判云あり

[illegible]ん云[illegible]云羽あ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

廣田社[illegible]合第長二年十二月八日
[illegible]
[illegible]
四月四[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

照らすの手ありてこれなる秀逸の
ちさいはゆる沢へてさられ
表乃ウメノ　　秋乃あきはの
ちの百姓判云表乃あきはのこと
ちうすのよりひ紅なる秋の照る表の
ウメのまあくくや
表すさむ
ちの百姓判云すさむ乃判やあく
しくやうよりゆんゆんと同意の判云
すさむと云句のあくやまるくはこや

行ゆん遠係二年八月京都の判り
すさむと云手を新をして撰ず
まさりみちうたすきめあさの撰歌
と云手をいとこ歌りあくまちう
また
ちの百姓手合乃判云中たの判者表
やうまさかすちう
うきうん
遠に二年九月あ歌合手合乃
俊成の判云うさんのうるやをたん

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

以一卷遺[illegible]数[illegible]
毋別[illegible]
[illegible]化[illegible]

後普光園院殿
[illegible]年十二月十二日　准三后[illegible]

右和歌秘抄[illegible]一帖[illegible]加書写
今作一帖[illegible]
出家[illegible]耳矣

天正十九暦蜡月初四

玄旨[illegible]